

# 一般会計補正予算を可決

## 価格高騰重点支援給付金等

6月定例会議は、6月9日から13日までの5日間の日程で行われました。町長から提出された議案は7年度補正予算など3件で、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

国では、物価高騰による負担増を踏まえ、6年度から所得税及び住民税所得割の定額減税を実施しています。

その中で、6年度に実施した定額減税補足給付金（調整給付）の給付額に不足が生じた方などを対象に、7年度に定額減税補足給付金（不足額給付）を給付するための予算が計上され、可決されました。

そのほか、中度心身障害者医療費助成事業費では、マイナンバーカードを活用した医療費助成のオンライン資格確認実施に向けたシステム改修委託料について予算が計上され、可決されました。

### 補正予算の主な内容

| 会計名                | 補正額    | 補正後の予算額   |
|--------------------|--------|-----------|
| 一般会計<br>(第1号)      | 2733万円 | 67億7962万円 |
| <b>主な使いみち</b>      |        |           |
| ■ 価格高騰重点支援給付金給付事業費 |        | 2203万円    |
| ■ 中度心身障害者医療費助成事業費  |        | 476万円     |
| ■ 協創推進事業経費         |        | 250万円     |

### 補正予算

● 一般会計（第1号）  
2733万円追加し、総額を67億7962万円としました。

### 財産取得

● マイクロバス  
◇ 契約金 968万円  
◇ 納期 8年3月31日  
◇ 契約相手 岩手三菱ふそう自動車販売株式会社（滝沢市）  
◇ 取得財産 マイクロバス 1台  
（2輪駆動、ディーゼルエンジン、29人乗り）  
◇ 取得財産  
① 水槽付消防ポンプ自動車 1台  
（II型、4輪駆動、ディーゼルエンジン、6人乗り）  
配備先 盛岡中央消防署葛巻分署  
② 消防ポンプ自動車1台  
（CD-I型、4輪駆動、ディーゼルエンジン、5人乗り）  
配備先 第1分団



病院への通院に重要な役割を果たしている町バス

### 消防ポンプ自動車

◇ 契約金 1億2793万円  
◇ 納期 8年3月31日  
◇ 契約相手 互光商事株式会社（矢巾町）

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は、付託された議案の審査を6月11日に行いました。主な質疑の内容をお知らせします。

#### 価格高騰重点支援給付金

**山崎委員** 価格高騰対策への対応として追加交付されているが、交付金の追加交付の見通しについて伺う。

**政策秘書課長** 現時点では追加の交付は見込んでいないが、今後の経済情勢等の変化によっては新たな追加交付が行われる場合があると認識している。  
**山崎委員** 価格高騰重点支援給付金給付事業について、6年度に実施した給付に不足が生じる場合に追加で給付するものとの説明だが、今回の補正により全ての対象者に給付されるのか伺う。  
**健康福祉課長** 定額減税補足給付金（不足額給付）

の対象者について700人程を見込んでいる。今回の事業で全ての住民に給付が行き渡る内容となっている。

#### 消防ポンプ自動車の更新

**姉帯委員** 財産取得する消防ポンプ自動車の詳細について伺う。

**総務課長** 今回、水槽付消防ポンプ自動車と消防ポンプ自動車は価格を抑えられると見込まれるため2台同時に入札を行った。設計額から落札価格を按分すると、水槽付消防ポンプ自動車が9390万円、消防ポンプ自動車が3403万円となる。葛巻分署に配備予定の水槽付消防ポンプ自動車は2トンの水槽や救助機



更新される水槽付消防ポンプ自動車（右）と消防ポンプ自動車

材が装備されており、有事の際は即座に対応できる車両となっている。

### くずまきテレビ録画放送の予定

| 月日       | 時間   | 内容        |
|----------|------|-----------|
| 8月8日（金）  | 9時～  | 議案説明、一般質問 |
|          | 17時～ | 議案審査、審議結果 |
| 8月9日（土）  | 9時～  | 議案審査、審議結果 |
|          | 17時～ | 議案説明、一般質問 |
| 8月10日（日） | 9時～  | 議案説明、一般質問 |
|          | 17時～ | 議案審査、審議結果 |

#### お詫び

くずまき議会だより第212号4ページ下段の表の説明に記載の誤りがありました。お詫びして訂正します。

【誤】 実質的な負担は7割程度

【正】 実質的な負担は3割程度